

# 令和3年 第3回 古地図散歩報告 (11月7日実施)

## 「薩摩藩士と宝暦治水」

講師：服部 康夫 氏

講師：大橋 崇秀 氏

[当日コース]

治水神社→千本松原散策→宝暦治水碑→木曾三川公園 (昼食) →治水タワー見学

### 1. 概要 (当日レジュメより)

#### 【薩摩藩士と宝暦治水】

##### 1. 宝暦治水の舞台＝木曾三川流域

- ・木曾三川：伊勢湾にそそぐ濃尾平野での木曾川・長良川・揖斐川の3河川流域
- ・木曾三川流域 (宝暦治水工事関連) の自治体  
(岐阜県) 海津市、養老市、大垣市、輪之内町、安八町、羽島市  
(愛知県) 愛西市、弥富市 (三重県) 桑名市、木曾岬市

##### 2. 治水普請の形態 (金世の治水制度を「治水四法」と呼んで説明することがある。)

- 公儀普請：幕府が自らの費用負担と責任において実施するもの。
- 国役 (くにやく) 普請：費用の十分の一を幕府が負担、残りを国役とした。
- 御手伝普請：幕府の命令と要請を受けて、大名が自領とは無関係の地域で工事費用などを負担して実施した普請。
- 自普請：大名や領民によって実施される。大名手限 (てぎり) 普請：20万石以上の大名が、自らの負担と判断で実施する治水工事と百姓自普請がある。

##### 3. 宝暦治水の概略

- ・宝暦3年 (1753年) 12月に9代将軍徳川家重が薩摩藩へ下した「濃州・勢州・尾州川々御普請御手伝」の命を受け、薩摩藩は総勢947人を派遣し、総力を絞って工事を進め、途中約51人の割腹者や33名の病死者を出しながらも40万両という膨大な工事費を使って、約1年半という短期間で完工させた大土木工事。
- ・薩摩藩の勝手方家老職にあった平田靱負を総奉行とし、工事現場を壘之手、二之手、三之手、四之手と称する4カ所に分け、それぞれに小屋を設けて工事にあたらせた。

### 2. 訪れた場所 コース地図

